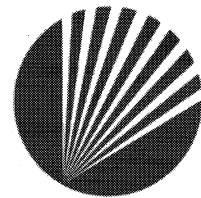


2019年4月15日（月）

# 2019年度 事務担当者会議

指導現場における暴力等行為根絶の取組（p25～）



公益財団法人

日本スポーツ協会

スポーツ指導者育成部

平成30年7月18日

概要版

## スポーツを愛するすべての人へ <日本スポーツ協会会長メッセージ>



### スポーツ指導者の皆さんへ

#### 【プレーヤーズセンタード】

スポーツの主役はプレーヤーです。スポーツ指導者自身の考えを一方向的にプレーヤーに伝えるのではなく、気づきを促し、成長に導いていくコーチングを目指しましょう。

#### 【学び続ける】

プレーヤーに気づきを促し成長に導くため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得をはじめ、常にコーチングに関する最新の情報を手に入れ、学び続けましょう。

#### 【ワークライフバランス】

スポーツ指導者自身の生活の充実・幸福の追求と併せ、家族・関係者のライフプランの充実も念頭に置きましょう。



### プレーヤーの皆さんへ

#### 【スポーツを心から楽しむ】

「楽しい」「大好き」という気持ちが、スポーツを続ける原動力であり、一人ひとりが主役として、みんなが楽しむことができるスポーツの「場」をつくりましょう。

#### 【互いに尊重し合う】

プレーヤー、仲間、スポーツ指導者、アントラージュは、役割は違いますが、一人の人間としては対等で、尊重されるべき人格があります。

相手を受け容れ、互いに尊敬や感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

#### 【自ら問いを立てる】

常に自分の思考や行動について問いを立て、答えを求め、考える習慣を身に付けましょう。



### アントラージュの皆さんへ

#### 【良き理解者となる】

プレーヤーが望むスポーツ活動を理解し、その成長を見守り促すために、良き理解者となるよう心がけましょう。

プレーヤーは、スポーツを自ら楽しみ、目標達成を目指す過程の中で、フェアプレーや倫理観、他者を信頼すること、他者に貢献することなどを身に付けることができ「人」としても成長します。

このような視点をもちつつ、互いに協力しあってプレーヤーの成長をサポートしましょう。



#### 【スポーツを愛する人を増やす】

スポーツは、「する」、「みる」、「ささえる」といった多様な楽しみ方があります。一人でも多くの人がスポーツを生活の中に置いて、生涯を通じて、長く楽しめるような環境を整えていきましょう。



### スポーツ団体・組織の皆さんへ

#### 【反倫理的行為を根絶する】

日本スポーツ協会は、スポーツの「場」で、暴力行為、暴言、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、ドーピングなどの反倫理的行為の発生や、それらの行為が黙認されることにより、スポーツを敬遠する人が増えるなど、スポーツの価値が低下することを懸念しています。

このことを私たちは再認識し、スポーツの「場」から反倫理的行為を根絶し、団体・組織の経営・運営が、公明正大なものとなるよう共に不断の努力を続けていきましょう。



# スポーツにおける暴力行為等相談窓口

## 相談窓口で取り扱う範囲

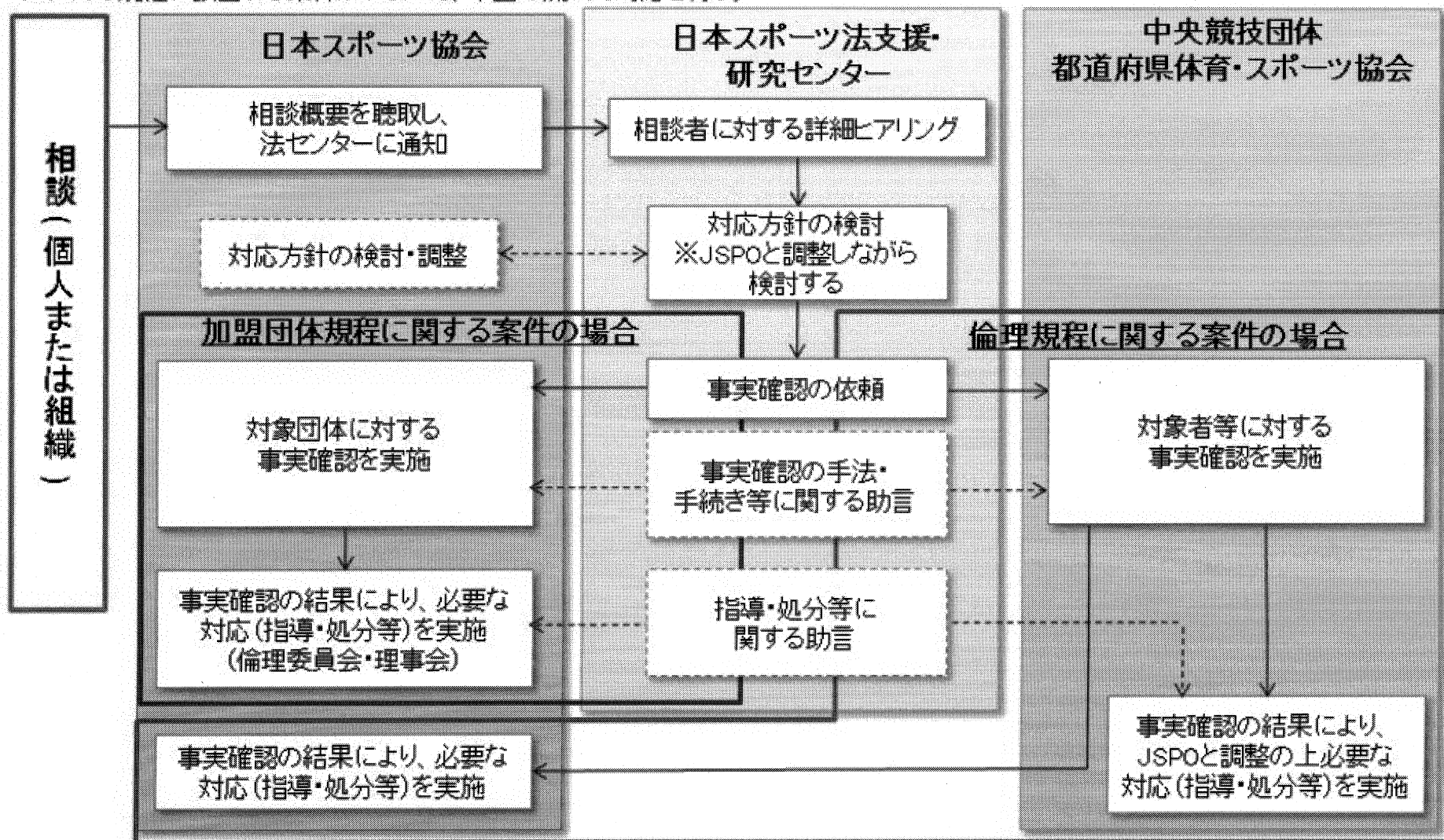
### <倫理規程関連>

- ①対象となる行為:倫理規程第4条に定められた行為
- ②対象となる行為者:倫理規程第2条に定められた者
- ③窓口を利用できる人:倫理規程第2条に定められた者とその関係者等

### <加盟団体規程関連>

- ①対象となる事項:加盟団体規程第6条、第7条、第8条並びに第12条に定める事項
- ②対象となる組織:本会加盟・準加盟団体
- ③窓口を利用できる組織:本会加盟・準加盟団体等

いずれの規程に該当する案件かによって、下図の流れで対応を行う。





イラスト&ケーススタディー

商品コード 00000

# 実践! グッドコーチング

暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して

イラスト&ケーススタディー  
実践! グッドコーチング

～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～

著者: 星野邦夫 (編集者)  
監修: 日本スポーツ法学会 (法律監修)  
協力: スポーツ庁 (制作協力)

※画像はイメージです。

[制作協力]スポーツ庁／日本スポーツ協会 [法律監修]日本スポーツ法学会 [執筆協力]星野邦夫 [編者]PHP研究所

A5判・並製・64ページ／予価648円(本体600円+税)

今回ご案内の書籍は書店等での一般市販はいたしておりません。

## パワハラのないグッドコーチングをめざして。 スポーツ現場で起こりうるパワハラ事例から 指導者のあるべき姿を学べる決定版!

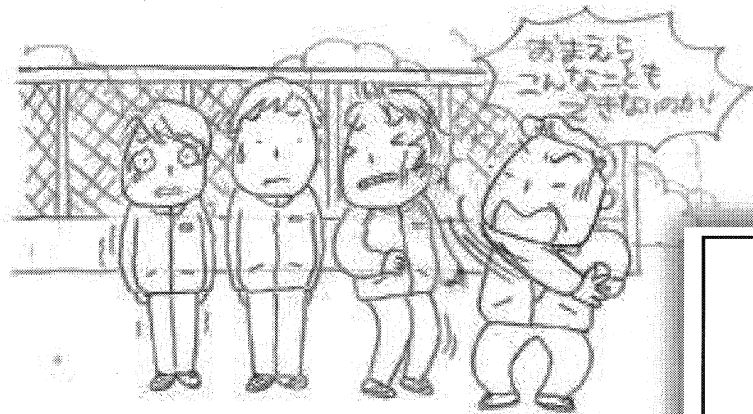
2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、スポーツ界におけるハラスメントを防止し、健全な活動を進めることが求められています。

本ガイドブックでは、スポーツ指導者を対象とし、暴力・パワハラを起こさないために指導者として身につけるべき基本となる考え方や、様々なパワハラ事案への対応について、わかりやすく解説しています。

CASE

1

## 愛のムチとして ビンタをくらわした



ベテランの指導者であるAコーチは、チームの練習を見ていました。県大会に向けて少しレベルの高い練習課題を課していますが、クリアできない部員が何人もいたからです。しかも、やる気があるのかないのか、どこか投げやりな感じでした。

「何やってるんだ、おまえらは」。大声を上げてクリアできない部員を怒鳴ると、「こんなことをできないというだけ、試合に勝つた

### 指導者の役割は本人に気づきを与えること

#### バフハラチェック表

①違法行為の可能性はあるか	○
②地位や人間関係の優位性を背景にしているか	○
③指導や教育の適正な範囲を超えた行為か	○
④継続的で執拗な行為か	×
⑤相手に身体的・精神的苦痛を与えているか	○
⑥健全な活動環境を悪化させているか	○
合計	5 (レベルⅣ)

日本ではスポーツの指導に暴力や暴言が伴うのは当たり前とする風潮が根強くあり、ケースのように「愛のムチ」と称してのビンタはいまだにありません。しかし、スポーツの社会的、教育的影響力の大きさを考えたならば、正当防衛や緊急避難の場合を除いて、暴力の容認は絶対にはなら